

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県下北郡東通村

下北森林管理署

東通村は青森県の北東端に位置し、北は津軽海峡、東は太平洋に囲まれ、さらに森林面積が約8割を占める大自然の中にある村です。黒毛和牛の繁殖・肥育を主とした畜産と、夏に吹く冷涼な風である「ヤマセ」を利用したブルーベリー・夏秋いちご等農作物の栽培、そして豊かな海での漁が盛んに行われています。

村の観光スポットである国定公園尻屋崎には、全国で16基しかない登れる灯台であり、かつレンガ造りでは日本一の高さ33メートルを誇る「尻屋崎灯台」があります。その展望台からは津軽海峡と太平洋が交差し、波立つ様子を見ることができます。



津軽海峡と尻屋崎灯台

尻屋崎は広大な放牧地であり、草原の緑と海の青、そして白亜の灯台のコントラストは絶景です。また「寒立馬」と呼ばれる、南部馬（現在の岩手県に生息していた馬）と、フランスのブルト



越冬する寒立馬

ン種を掛け合わせて200年以上におよぶ歴史の中でつくりあげられた、体躯が大きいながらも愛らしい馬も見ることができ、行楽シーズンには絶景と寒立馬が草を食む様子に癒やされようと観光客がたくさん訪れます。

そして、村を訪れる観光客の方にお土産として人気なのが、村内産ブルーベリーで作られた風味豊かなジャムと、ブランド牛である「東通牛」です。繁殖から肥育まで、安心安全を第一にのびのびと育て



村内産ブルーベリージャム

られた東通牛はとろける脂が絶品です。国定公園尻屋崎への道中にある野牛川レストハウスでは、東通牛を使用したハンバーグやジャッキー、フラ



野牛川レストハウス

ンクフルトなどを販売しており、気軽にお手にとっていただくことができます。また、毎月9日、19日、

29日には東通牛の精肉の特売も行っていますので、その日にあわせて東通村までドライブに訪れてみてはいかがでしょうか。



東通牛のハンバーグ

お問合せ先：東通村商工観光課 Tel：0175-27-2111